

「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム（案）」県民説明会 柏会場 1回目

- 1 日 時：令和7年6月26日（木曜日）午後6時30分から午後8時まで
- 2 場 所：柏市民文化会館 小ホール
- 3 内 容：「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム（案）」の説明と質疑
- 4 参加者：17名
- 5 主 催：千葉県教育委員会

意見聴取の概要

Q 沼南高校の受検を考えている。高校3年時に統合となるが、その場合制服はどうなるか。

A 現時点では、令和8年度と令和9年度の受検生の方については、現在の制服を使用する予定です。今後変更等が生じた場合、受検生の皆様には丁寧に説明してまいります。

Q 統合校の使用校舎を検討中とある。新しい学校では両校の学びを継承とあるが、校舎が変わってしまった場合、沼南高校で行っている地域と連携した学びは継承できないのではないか。

A 第2次実施プログラムは（案）の段階のため、統合後の具体的な教育課程や学びの内容については、未定となっております。今後の県民説明会やパブリックコメントでいただいた御意見を踏まえて本プログラムを正式に決定します。また、正式決定後に、両校の教職員等で統合に向けた準備室を設置します。その中で、具体的な教育課程や学びの内容について検討してまいります。

Q ICT環境について、他県の教員から千葉県の状況は厳しいと言われる。そのような状況でICT機器や通信環境の整備ができるのか。

A 統合校については、生徒一人一人の生活スタイルや学習ニーズに合わせて学ぶことができる、新しい学校のタイプであるフレキシブルスクールを設置する予定です。午前部、午後部の二部からなる多部制定時制高校と通信制課程を併置します。特に通信制課程ではオンラインを使用したスクーリングや、レポートの電子化を推進するため、令和10年度に向けてICTの設備や環境を整備してまいります。

Q これから2年間に入学する生徒に関しては、統合後の教育課程はどのようなになるか。

A 令和8年度、令和9年度入学生については、統合後も両校の特色ある学びを継続・実践できるよう引き続き検討してまいります。

Q 第2次実施プログラム（案）は年度内に決定とあるが、高校入試の出願が2月である。受検後に変更になると影響が大きい。年内に決定してもらいたい。

A 具体的な時期について、現時点では申し上げることができませんが、現中学校3年生の受検生の皆様に不利益が生じないよう、準備してまいります。

Q 学校運営協議会員という立場で沼南高校を訪問した。授業風景は感動を覚えた。少人数校でのメリットを活かしている。他校も参観したが、通常の授業のように教員が黒板に板書し、生徒がノートをとるといったような形とは違う。このような沼南高校が統合になると知りショックを受けた。この光景を見た者として、在校生の気持ちが心配になった。県は把握しているか。

A 昨年度沼南高校を訪問し、授業見学等させていただきしました。生徒に寄り添う学習指導や落ち着いた環境の中で生徒が伸び伸びと学習している姿を把握しました。

また、在校生の状況については、校長先生を通じて現状の把握に努めているところです。

Q 統合の話は地元であっても周知されていない。県のホームページは、用がなければ見ない。地元や卒業生に向けた周知をお願いしたい。

A 公表した案については、現在パブリックコメントにより広く県民の皆様からの意見を伺っており、今後も2回目の県民説明会の実施により直接地域関係者から意見を伺う予定です。また、必要に応じて、各地域の自治体、各学校の開かれた学校づくり委員会、関係団体等を訪問し、御意見を伺ってまいります。

Q 使用校舎について、なぜ沼南高校ではないのか。

A 統合校は、生徒の通学の利便性等を考慮し、沼南高柳高校を使用校舎とすることとしました。

Q 統合後の校舎については、卒業生が訪れる場所として残してもらいたい。

A 沼南高校の校舎の利用については未定です。県有財産になりますので、有効な活用方法を検討していくことが必要と認識しています。

Q 全日制・定時制・通信制が重なる時期がある。部活動の扱いはどうなるか。全日制大会と定時制大会にそれぞれ出場する形では、特に団体競技で人数が足りないのではないのか。

A 統合が決定後に設置される統合準備室で、近隣の高校と連携し合同チームで出場するなど、生徒が活躍できる場の在り方について、引き続き検討してまいります。

※参考

全国高等学校体育連盟の規定によれば、異なる課程に所属する生徒が合同で大会に出場することは可能である。ただし、全国大会に出場することはできない。

Q 統合後の学校行事は、全日制と定時制と通信制の生徒はどのように関わるのか。

A 統合後の学校の在り方については、統合準備室で丁寧に対応してまいります。

Q 沼南高校に子供が在学中であり、授業参観に行った。少人数制であり温かい学校だった。下の子供が今年度受検生であり、沼南高校を希望している。統合後も校風は継続していただきたい。統合後に人数が増えた時、大人数が苦手な生徒への配慮をお願いしたい。

A 令和10年度以降の学校の在り方については、統合準備室で丁寧に対応してまいります。これまで沼南高校が行ってきた取組などは、統合校に継承し、魅力ある学校づくりを進めてまいります。

Q 沼南高校には我孫子市の生徒が多数通学している。使用校舎が途中で沼南高柳高校になった場合、通学が大変になる。統合校が不登校生徒等への支援を推進するとしているのに、かえって、通学において登校のハードルが上がるのではないのか。入試の後にプログラム決定では影響が大きい。学校のビジョンを明確に示してほしい。

A プログラム決定の具体的な時期について、現時点では申し上げることができませんが、現中学校3年生の受検生の皆様に不利益がないよう、準備してまいります。

Q 沼南高柳高校は特別支援教育に力を入れている。沼南高校と統合することによって人数が増えてしまうと、手厚い教育が行えないのではないのか。

A 引き続き我孫子特別支援学校清新分校を併設します。併設していることを活かし、学校行事や授業等で連携した取組を推進してまいります。